

社会のライフスタイルの変化に伴う

## 少子化、晩婚化、不妊治療の長期化

が近年、問題になっています。



生殖年齢(妊娠適齢期)は40歳までで、40歳以降の妊娠能力の低下は体外受精を始めとする生殖補助医療に頼らざるを得ません。

治療方法の進歩により、45歳での妊娠も可能となりましたが、年齢に伴うリスクなども十分考慮しなければなりません。

今回「42歳からの不妊治療教室」では、高齢による妊娠の問題点や当院での治療実績・妊娠率の現状などをお示しし、今後の治療方針を再検討するお話しをさせていただきます。

### 『42歳からの妊活教室』

日時: 4ヶ月に1度の開催です。

場所: 開催日により異なる場合がございます。  
詳しくはHPをご参照ください。

進行: はらメディカルクリニック院長 原 利夫

#### 参加申し込み方法

WEB・院内タッチパネルにてお申込み下さい。  
予約項目は『説明会・勉強会』の中の『42歳からの妊活教室』です。  
参加費は無料です。  
※当院に通院されていない方はHPのフォームよりお申込み下さい。

はらメディカルクリニックに通院中の患者様・通院されていないが不妊治療をされている方ならどなたでもご参加いただけます。